毎月 11 日は

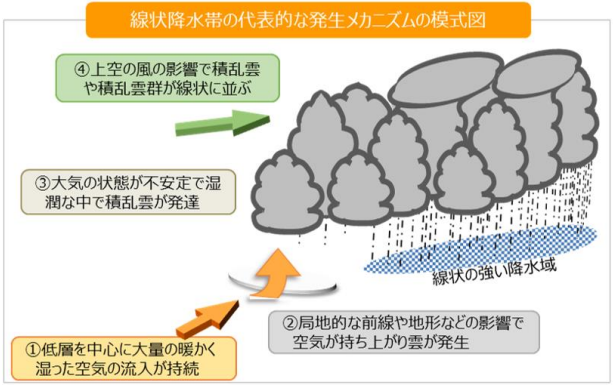
防災を考える日

令和３年９月号

「顕著な大雨に関する情報に注意しよう」

■線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50～300km 程度、幅 20～50km 程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。



〔「顕著な大雨に関する情報」（気象庁ホームページ）を加工して作成〕

■防災基礎クイズ

Q　積乱雲の説明で間違っているのはどれ？

１．雲の高さは10キロメートルを超える

２．夏によく見られる入道雲

３．一つの積乱雲がもたらす現象は、30分～1時間程度で広範囲

（答え：3が誤り（広範囲ではなく、局地的な範囲に限られる））

毎月 11 日は「防災を考える日」です。
震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402　FAX:0226-22-1467　E-mail:kikikanri@kesennuma.miyagi.jp